



## Japanese Translation

### PRISMIUM ウェブサイト

#### 研究

##### 3.1) 作用機序

PRISM を使った視覚化の効果は、1990 年代から集中的に研究されてきました。多数の研究により、PRISM が機能する理由が示されています。

PRISM の有効性は、いくつかの補完的な原則の組み合わせに基づいています。それらは医学および他の社会的交流の分野における対人コミュニケーションの質的变化および深化をもたらします。これは非常に単純な手段を使用して短時間で発生します。

##### 1.視覚化

私たちは長い間、百聞は一見にしかずだということを知っています。さらに視覚化により会話が容易になり、双方の理解を向上させることができるということが、研究によって示されています。

##### 2.客観化

PRISM を使用して作業することで、PRISM ツール上での物理的描写を通して複雑な心理的プロセスが解放されます（客観化されます）。観察者はこれらの事象について、多くの場合で初めて新鮮な見方と洞察を得ることが可能です。PRISM ツールや個々の問題における、さまざまな側面の差別化した客観化を使用することで、PRISM ユーザーは自分自身と自分の生活の中で新しい関係を発見することができます。PRISM 方法論を専門的な対話に取り入れることで、治療成果が向上します。

##### 3.手と脳のコミュニケーション

手の動きと思考は、人間の内部で非常に密接に関連しています。思考は手の動きを制御するだけでなく、手も思考に影響を与えます。PRISM ツールを使用すると、この相互作用が活発になり、創造的なプロセスが動き出し、新しい洞察が促進されます。

##### 4.関係性についての考え

PRISM ボードを使用すると、新しい考え方が前面に現れます。話題自体が問題の中心点ではなくなり、話題との関係に焦点が移ります。これによって会話がより個人的で確かなものになります。

##### 5.認知ツール

研究者は、認知ツールとユーザーとの相互作用を長い間調査してきました。認知ツールは、ユーザーが特定の思考プロセスをスピードアップするのに役立つだけでなく、まったく新しい思考スキルも開発することが証明されています。PRISM が機能する方法において、両方の側面が役割を果たしているようです。

## 6. 試行錯誤

長年にわたり、教授法と教育学の科学は、物事をうまく修得するために「試行錯誤」することが必要であることを発見しました（「実験的学習」）。PRISM ツール特有の強みは、解決策の代わりに視覚的および触覚的な選択肢を経験する機会です。

## 7. 視覚的なメタファー

メタファーは人間のコミュニケーションの中心です。これにより、新しい理解領域が確立されます。科学的研究を iPRISM (PLOS ONE 2016) で分析した結果、PRISM は視覚的なメタファーとして解釈できることがわかりました。PRISM 方法論は、異なる文化にわたるメタファーとして理解されています。言語コミュニケーションや異文化間対話の改善に関する問題に適しています。